

町会長連合会だより

からくま

唐沢山…藤原秀郷公の居城跡で、深い歴史を持つ山

平成30年9月1日

第20号

発行 佐野市町会長連合会
編集 会報編集部会

野上地区土砂災害訓練 （御神楽・長谷場・白岩・下作原・上作原 町会）



航空隊の救助訓練の様子



救命講習



啓発物品配布

開催した経緯

野上地区は、佐野市北部に位置し、美しい山並みと清流が流れています。しかし、土砂災害警戒区域が多数あり、局地的な豪雨等に伴う災害の発生が懸念されます。また、同地区では平成24年度末で廃校となった旧野上小学校跡地利用や地域の活性化について「野上を考える会」で検討するなど、地域活動が活発な地域です。

今年7月には西日本豪雨により、甚大な被害がもたらされました。佐野市でも野上地区をはじめ、集中豪雨等により、土砂災害発生の危険性のある地域が多数あります。この度、住民参加の実践的な訓練をとおし、防災意識を高めるため、土砂災害訓練を実施することとなりました。

避難訓練及び防災講習

6月24日（日）「野上地区土砂災害・防災訓練」が、旧野上小学校において開催されました。

当日は、野上地区に「土砂災害警戒報」が発表され、避難準備・高齢者等避難開始及び避難勧告を発令

野上地区
（御神楽・長谷場・白岩・
下作原・上作原 町会）



佐野市

する“という想定で、訓練が行われました。防災無線や広報車等の呼びかけで、避難所の旧野上小学校体育館に地域住民が避難するなど、関係機関等合わせて約400名がこの訓練に参加しました。

避難後は、市危機管理課職員による防災講話が行われ「土砂災害の発生個所はある程度予測されているので、普段から備えをしておいてください。ハザードマップを事前に確認し、雨が降り出したら、テレビ・ラジオ・防災無線等、あらゆる情報を集めてください。」という説明がありました。

講話後には応急手当・応急担架の作り方を実習し、地震や煙体験、さらには防災ヘリによる広報や救出訓練も行われ、参加者は楽しみながら、防災について学ぶことができたようです。

土砂災害訓練を終えて

下作原町会 横塚洋二町会長談

野上地区住民が一同に会した土砂災害訓練は初めての試みで、多くの人に参加してくれて良かったです。野上地区は、山に囲まれており、土砂災害には、みんなが関心を寄せています。今回の訓練は、防災対策だけでなく、今後の旧野上小学校跡地の活用等、地域活性化のきっかけのひとつとしたいです。

連合会総会開かれる！

5月23日(水)、文化会館において平成30年度佐野市町会長連合会総会が開かれ、事業報告・計画、収支決算報告・計画及び表彰基準の改正案が提案され、全議案が承認されました。

総会にあたり、佐野市町会長連合会上岡会長の挨拶は次のとおりです。



現代社会は、少子高齢社会の進行と人口減少の懸念から、国や地方自治体においても町会同

様、難しい舵取りを強いられております。町会未加入問題、役員の担い手確保、今後益々増えると思われる地域負担等、課題は山積みです。国は将来の担い手育成を重点に幼児教育・保育の無償化、待機児童解消のため、32万人分の保育環境整備等、児童福祉の充実を目指しており、栃木県においても出産から子育てまでを支える新条例を今年度中に策定し、県を挙げた環境づくりに取り組み構えています。

佐野市でも移住・定住係を設置し機構改革を図るなど、積極的な

姿勢をとっております。また、待機児童対策として進める、企業の認可外保育施設にかかる固定資産課税額を国基準より引き下げる「わがまち特例」を県内で初めて導入しております。平成27年度、佐野市は「佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しています。2060年の目標人口を8万5000人とし、若者の結婚、妊娠、出産、子育ての希望を叶えられるまちづくりと、出生率向上を目指した人口減少の克服に挑戦する基本目標を決定しています。目標の具現化に向け「こどもの街宣言都市」に相応しい更なる児童福祉の推進を、市当局にお願いするものであります。

連合会関連では、円滑な会運営を目指した理事会の開催、市や県自治会連合会が主催する各種会議への出席、町会の実態調査に基づく課題を協議する「地域づくり検討部会(厚木町会長外、委員7名)」の開催、地域活動の情報収集と町会長連合会だより「からさわ」の編集を行う「会報編集部会(秦町会長外、委員7名)」の活動、市が発行する各広報紙の配布、市の主催行事への参加動員等、行政の協力機関として市民とのパイプ役となり、明るい地域社会づくりに努め

てまいりました。これからの町会運営は、地域住民を基本にとらえ地域に即した運営が求められております。

町会組織は、市民の代表格を有する組織で、更に地域を原点としており、居住する全住民が構成員の対象であることから、「全世帯加入」が基本であると考えております。町会長の皆様には組織の趣旨をご理解頂き、地域においては「地域担当職員制度」を活用されながら、地域福祉向上にご尽力をお願いいたします。さらには当連合会運営につきましても、ご協力ご支援の程お願い申し上げます。併せて町会長皆様のご健勝をご祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

「佐野市市有施設
適正配置計画」
地区別説明会・懇談会

平成30年3月に、「佐野市市有施設適正配置計画」が策定され、今年度は市内各地区で説明会が開催されました。各地区の町会長をはじめ、多くの市民の方々が出席しました。10月以降、各地区懇談会が開催されますので、地域のみならず、より活発な意見交換が行われることを期待しております。

平成30年度
全市一斉清掃が
実施されました



5月27日(日)、平成30年度全市一斉清掃が実施されました。今年度は、石塚町(緑)町会の様子をご紹介します。

午前7時半、石塚町(緑)町会では、すでに多くの住民の方々が清掃をはじめていました。特に、小さなお子さんからお年寄りまで、男女問わず、あらゆる世代の方が清掃に励んでいる様子が印象的でした。

石塚町(緑)町会

椎名あつ子町会長談

今年は350人以上の方が参加しました。町内清掃は、地域をきれいにするだけでなく、隣近所の人と会話を交わすことで、交流を深める良い機会になっています。



新春祝賀会・表彰

1月16日(火)
ホテルサンルート佐野
新春祝賀会並びに町会活動
永年在職功労者表彰
(受賞者17名)



平成29年度の事業報告(概要)

全市一斉清掃



5月28日(日)
全町会による
一斉清掃
約9トンのごみを
回収しました。

視察研修

10月18日(水)
福島県環境創造センター
(福島県三春町)
放射線や再生可能エネルギーについて学びました。



地域づくり検討部会の開催

地域づくり検討部会は、町会が抱えているさまざまな課題を調査・研究するため、平成29年度は、「町会活動に関する実態調査」を行い、結果をまとめました。
町会が直面している課題として
①役員のなり手が少ない
②住民の高齢化
③行政から依頼事項が多い などです。
今回の実態調査をとおり、多くの課題を把握できました。
今後、地域づくり検討部会において、これらの課題を検討してまいります。

平成29年度 町会長研修会

(講師：高崎経済大学 櫻井常矢教授)

11月9日(木) 文化会館小ホール



演題
「実践に学ぶ これからの地域づくりへのヒント(2) ~活力ある地域運営への工夫~」

地域課題の解決

「地域づくり検討部会」において、地域における課題や今後の検討事項について、行政と連携して課題の解決に取り組みます。



平成30年度の主な事業

会報の作成

市民の皆さんに、より多くの町会に関する情報をお知らせするため、会報編集部会で会報誌を作成し、年2回発行いたします。

行政と町会について

行政と町会との関係性を整理し、協働体制がとれるように、各行政機関及び地域担当職員と共に課題に取り組んでまいります。

その他として

- 全市一斉清掃
- 視察研修
- 町会長・町会役員を対象とした講演会
- 永年表彰
- 福祉、教育、文化団体の会議などへの参画
- 栃木県自治会連合会事業への参加等
- その他、市が主催する各種事業への参加

町会は地域において様々な役割を担っています！

町会は住民の皆さんと共に災害時の対応、隣り近所との絆づくり、いざという時の相互扶助など地域のために様々な活動を行っています。

町会活動に対してご理解をいただき、積極的に参加してください。



●安全・安心な暮らしを守る活動

自主防犯パトロール、自主防災組織、防犯灯の維持管理、交通安全活動など

●親睦交流活動

お祭りの開催や、子ども会、敬老会への協力など

●環境美化活動

清掃活動、ごみ集積所の維持管理など

●地域情報活動

回覧板や広報の配布による地域の情報伝達など

●地域福祉活動

子どもや高齢者の見守り活動など

平成29年度 佐野市生涯学習フォーラム事例発表

平成30年3月3日(土)4日(日)に佐野市生涯学習フォーラムが開催され、初日に若松町(城東)町会と船越北町会の事例発表がありました。

| No | 氏名 | 家族人数 | 家族構成 | | | | | 緊急時の連絡先 | | | | |
|----|--------|------|-------------|-------|----|-------------|----|---------|-------|----|-------------------|----|
| | | | 70歳以上 人数 | 内訳 | | 成人 70歳以下 | 学生 | 未就学 | 支援必要 | | その他 | |
| | | | | 高齢者のみ | 期間 | | | | 高齢者のみ | 有り | 無し | 自宅 |
| 1 | 佐野 太郎 | 1 | | | | 1 | | | | | 申太郎 090-9999-9999 | |
| 2 | 城山 二郎 | 7 | 1 | | 1 | 2 | 4 | | | | | |
| 3 | 城東 一郎 | 2 | 2 | | | | | | | | 盛岡ダイサービスに行っている | |
| 4 | 城北 幸子 | 2 | 1 | | 1 | 1 | | | | | | |
| 5 | 城南 博美 | 1 | 1 | | | | | | | | 立夫 88-8888 | |
| 6 | 若松 マサ子 | 3 | | | | 2 | 1 | | | | ミルク・オムツ必要 | |



てこたえない高齢者の移動の手段確保などの課題に取り組んでまいります。

今後は、より多くの方が参加できるよう、活動プログラムの二層の充実や、公民館まで歩いて

若松町(城東)町会 厚木 健志町会長
若松町(城東)町会では、高齢化社会を見据え、①緊急時に必要な名簿作成 ②高齢者の見守り活動 ③公民館の有効利用 ④町会相互の災害協定に取り組んでいます。

超高齢化社会と町会
町会運営は3年から5年先を考えて進める



地域を取り巻く課題は、農業の担い手確保、少子高齢化など多くあります。今後も協働作業を通し、みんなで助け合いながら、課題に取り組んでいきたいと思っております。

船越北町会 神宮次 秀樹町会長
船越北町会では、地域で問題となっていた耕作放棄地活用や獣害対策に取り組むべく、平成23年に「夢大地」を立ち上げ、現在は46名の会員が活動中です。

協働作業を通して
広がる交流の輪



編集後記

◆佐野市では、連日記録的な猛暑日が続き、夏バテ気味の方も多いのではないのでしょうか。まだまだ残暑が続きます。こまめな水分補給など、熱中症対策を心掛けたいものです。

◆甚大な被害をもたらした西日本豪雨から二か月になります。犠牲になられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災された方に心からお見舞いを申し上げます。また、町会長連合会の義援金募金にご協力いただいた多くの皆様のご厚意にお礼申し上げます。

私たちは自然災害に対して、「微力だけれども、無力ではない」はずです。いざという時、地域で自助・共助を行うためにも、日頃から地域の人と顔を合わせ、言葉を交わして、地域の絆を育てることが大切ではないでしょうか。

◆からさわ第20号、いかがでしたか。お読みになった皆様からのご意見・ご感想をお待ちしております。また、掲載していただきたい内容や、皆様のご近所での地域活動の情報等ございましたら、ぜひお寄せください。町会長連合会事務局が、今度はあなたの町会に取材に向います！

発行者 佐野市町会長連合会

〒327-1850

栃木県佐野市高砂町1番地

佐野市役所 6階

☎02833-2013812

発行責任者 上岡 良雄

編集部長 秦 俊一

編集部会長 神戶清次郎

編集部会員 荒居 利治

川久保 明

須藤 武

中野 正悟

川上 安壽

尾花 勝司

▼佐野市町会長連合会は全域167町会で組織されています。